

優秀賞

幼保連携認定こども園ユニヴァーサル雙葉学園「子と親の運動会」

学校紹介

本学園は、「やればできる やればかならずできる」を信条とした教育目標のもと、体育・徳育・知育・心育を柱石に教育・保育を展開する中、文武両道をめざし、様々な活動にチャレンジしている。

取組概要等

【取組概要】

毎年、本学園の運動会は、親子と一緒に楽しめる「子と親の運動会」という名称で行っている。

【取組のねらい】

今年度は、オリンピックをテーマに「フタバオリンピック」として開催した。

【創意工夫した点】

幼保連携認定子ども園ならではの取組として、1～5才児の模擬聖火リレーをはじめ、入場、選手宣誓などオリンピックさながらの開会式となり、何も知らされていない保護者は驚きと感動を見せてくれた。競技内容も各クラス（9クラス）がその年齢に応じたオリンピック競技を体験した。また、職員・保護者競技では世界の衣装をまとうリレーを行った。

【取組結果や効果】

閉会式では表彰台にのぼり、メダルをかけてもらうと「こんな経験は二度とない！」とたくさんの笑顔が見られた。片付けも保護者と職員が行っているが、時間が押したのにもかかわらず、いつもより早く終了することが出来た。「あっという間に終わった気がして、またやりたい」との感想も多く、オリンピックという誰もがイメージしやすいテーマで、東京2020大会への期待も高まった運動会となった。

【来年度以降の展開予定など】

一つの目標に向かって皆で気持ちを合せることの素晴らしさを次年度にもつなげていきたい。

プログラムの様子



各クラスの手作り旗を年長が先導し、子どもたちが入場行進しました。



4才児による重量あげです。手作りのバーベルをあげ本物さながらの、カウントしました。



保護者の見守る中1～5才児の模擬聖火リレーを行いました。すべり台を模擬聖火台とし 点火と同時に炎を出すことに苦労しました。



各クラスの個人競技を点数制にして一番多かったクラスから表彰台にてメダルの授与となりました。

東京2020アスリート委員会からのコメント

年齢層それぞれに応じた形で、オリンピックの要素を盛り込んだプログラムを考えたほか、入場から開会式、閉会式とストーリー性もあり素晴らしい取組でした。

受賞のコメント

小さな子どもたちにどうすればオリンピックを伝えられるか！各年齢に合うように工夫を凝らした模擬体験で「フタバオリンピック」をやればできる！を信条に全員が輝くことができました。